

平成27年3月17日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■景況について

本所が取りまとめた1～3月期の京都企業の経済動向調査を報告する。国内景気は、前期調査から2期連続で下降した。昨年4月の消費税率の引き上げ以降、回復の足取りは鈍いが、今後4～6月期には上昇に転じ、7～9月期も引き続き上昇すると予想している。企業の自社業況は、秋の需要期からの反動もあり、大幅に下降した。円安のメリットを受けやすい一般機械製造や電気機械製造等の業種は上昇基調で推移しているが、染色や木材・木製品製造等、低迷が続く業種も多く、内需型の産業における経営環境が厳しいことを示している。

規模別で見た場合、大企業では、自社業況や経常利益が上昇または増加と回答した企業がそれぞれ3割以上となったのに対し、中小企業では自社業況や経常利益が改善したのは1割強に留まっている。両者のBSI値を比較すると10ポイント以上の差があり、内需型を主体とする中小企業を中心に円安の負の影響が広がっていることが確認できる。

また、原油価格の低下による恩恵を受ける企業もあるが、多くは人手不足や円安による輸入コストの上昇等の影響でメリットが相殺されている状況にある。コスト増が利益を圧迫する構造はほとんど変わっていないが、国内景気は春以降に持ち直しを見込んでいることが好材料である。

京都商工会議所の動き

■会員サービス事業について

今年度最後の記者会見なので、多くの会員事業所にご活用いただいている事業や、新年度に初めて開催する事業を紹介したい。京商ビジネススクールを中心に行う研修・セミナーなどの人材育成事業が好調だ。平成26年度京商ビジネススクール定期公開セミナーは、昨年度より講座数を減らしたものの、受講者数は増えている。4月から始まる新入社員研修の受講者もこの時期にして昨年度より約200人増え、800人を超える申込を受けている。オーダーメイド研修も好評であり、今後は利用する会員事業所数を拡大するために、広報活動を強化していきたい。

また、今年度から会員の満足度を高める取り組みとして、「会員交流充実プロジェクト」を展開している。会員同士の交流を活発・充実化する取り組みで、平成26年度は新たな事業を織り交ぜながら前年並みの220回開催し、昨年度を上回る約1万4,500人・約3,700事業所に参加いただいた。そうした参加型事業の新たな取り組みとして、会員感謝デーと銘打ち、「時雨殿・しだれ桜 特別鑑賞会」を実施する。小倉百人一首殿堂の時雨殿を会員向けに開放し、音楽、呈茶、時雨殿の体験プログラムを用意して、会員事業所の従業員やご家族の方など大勢をお迎えしたい。

■全国商工会議所観光振興大会2016 in 京都 開催について

平成28年度全国商工会議所観光振興大会の京都開催が正式に決定した。この大会は平成16年度より日本商工会議所が主催して全国各地で実施しているもので、平成28年度は13回目となる。東京オリンピック開催の4年前に実施する本大会を、各地域における文化資源や観光資源を見直す機会とし、全国各地から知恵を活かした地方創生の取り組みを提言、発信していく場としたい。会場についてはロームシアター京都を中心とする岡崎公園エリアを予定しており、全国から約1,500名の商工会議所関係者が参加する。本事業を推進するための組織として、実行委員会の新設を決定した。4月9日に第1回目の会合を開催し、プログラム等の詳細について詰める予定である。

■北陸新幹線の開業について

北陸新幹線の開業は、東京圏が中部・北陸エリアまで拡大することを意味し、東京への一極集中がさらに強まる恐れがある。関西にとって、今後の人やモノなどの流れが大きく変わるのではないかと危惧している。京阪神の3商工会議所では、関西と北陸との結びつきをより強固なものとするため、北陸3県（福井・金沢・富山）の商工会議所に対して、連携を強化する取り組みの提案をしたい。新年度早い機会に、京阪神3商工会議所の専務理事と、北陸3県の商工会議所の専務理事とで、この件について協議を行うこととなっている。会議では、両地域の観光やビジネス交流などをテーマとし、関西と北陸の継続的な連携による交流の活性化を図りたい。一番の懸案事項である大阪延伸の早期実現についても、要望活動を展開していきたいと考えている。

記者からの質問事項

■景況について、他の機関の調査結果においても、1～3月期の数字が悪い。当初は年明けから回復するという見方もあったが、何が一番想定と違っているのか。

消費税率引き上げの影響が長引いていることや、円安に伴う原材料高が響いていることが挙げられる。一方で、調査結果では4月以降は上昇に転じる見込みである。円安の進展により輸出企業の収益がさらに伸びるほか、原油安がプラスに働き、消費者心理に改善がみられるのではないかと。ここに来て、株価が1万9千円台となった。株高の継続、賃上げによる内需回復への期待、国内設備投資の増加という3つの「増」が今後の景気回復の原動力となる。

■春闘について、主要企業の集中回答日を前に、今年状況と期待を伺いたい。

大手自動車関連企業の賃上げの動きを受けて、電機業界にも良い影響が出てきている。大手企業では昨年を上回る賃上げが想定される。原油価格の下落もあり、消費が上向き要因になるのではないかと期待している。

■原材料などのコスト高が中小企業の利益を圧迫しているということだが、関西電力の法人向け電気料金の値上げについてはどのように思われるか。

電気料金の値上げ幅によって中小企業への影響も変わってくる。公聴会においても、値上げの妥当性のほか、役員報酬や社員の給与の一層の削減を求める声が強まっているようだ。更なる経営効率化を検討いただきたい。

■北陸新幹線の開業について、京都に与える影響をどのようにお考えか。

京都を含めた関西への国内観光客の減少が一時的にはあるものと考えている。北陸新幹線の開業という一連のブームが落ち着いたあと、どのようになっていくか、もう少し様子を見ていく必要がある。国内観光客の減少が見受けられるものの、京都においてはインバウンド観光客が日に日に増えている。国内観光客の減少を、インバウンド観光客の増加で相殺するような状況が続くのではないかと。

以上

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2015. 3. 17)

－2015年1～3月期実績と2015年4～6月期及び2015年7～9月期予想－

京 都 商 工 会 議 所
担当：中小企業経営支援センター
電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

国内景気は春以降に持ち直しを期待 ～自社業況は業種間にばらつき～

概 要

今期の国内景気は、2014年10～12月期に続いて下降基調で推移した。しかしながら、続く4～6月期と7～9月期には連続して上昇を見込んでおり、春以降回復の見通しとなっている。一方、自社業況は、秋の需要期からの反動もあって大幅な下降となり、マイナスへと転じた。今後は、春の観光シーズンを迎える4～6月期に観光関連産業を中心に上昇に転じるものの、7～9月期は再び下降するとの予想で、先行きに対する慎重さが見受けられる。業種別では、自社業況BSI値において染色が5期連続でマイナス、木材・木製品製造でも4期連続でマイナスとなるなど、厳しい状況が続く一方、円安の影響を受けやすい一般機械製造及び電気機械製造、機械金属卸では3期連続でプラスとなっており、業種によってばらつきが見られる。昨年後半からの原油価格下落がコスト負担の軽減につながっている反面、人手不足や円安による輸入原材料高、電気料金値上げ等への懸念が中小企業を中心に広がっている。

(注) 2月の上旬から中旬にかけて同調査を実施し、573社中464社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。また1～3月期のBSI値は、2014年10～12月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

2015年1月～3月期は、「上昇」とした企業15.4%、「下降」とした企業25.5%、BSI値▲5.1(前期実績▲2.2)と、下降した。今後の4月～6月期は8.0と上昇に転じ、続く7～9月期も6.5と上昇が続く見通し。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 2015年1月～3月期は、「上昇」とした企業20.6%、「下降」とした企業39.5%、BSI値▲9.5(前期実績6.7)と下降に転じた。今後の4月～6月期は2.2とやや上昇するも、続く7～9月期は▲1.7とわずかながら再び下降に転じる見通し。

1. 生産・売上高、工事施工高 2015年1月～3月期は、「増加」19.7%、「減少」40.4%、BSI値▲10.4(前期実績8.5)と大きく減少した。今後の4月～6月期は1.8とやや増加し、続く7～9月期は0.3とほぼ横ばいで推移する見通し。

2. 製・商品・サービス・請負価格 2015年1月～3月期の製品価格、商品価格、サービス価格、建設業請負価格を総合的に見ると、「上昇」11.0%、「下降」11.9%、BSI値▲0.5(前期実績5.6)とほぼ横ばいとなった。今後の4月～6月期は5.0、7～9月期は1.6と推移する見通しとなっている。

3. 経常利益 2015年1月～3月期は、「増加」19.3%、「減少」40.0%、BSI値▲10.4（前期実績3.8）と大幅に減少した。今後の4月～6月期は▲1.3とわずかながら減少し、続く7～9月期も▲4.4と減少の見込み。
4. 所定外労働時間 2015年1月～3月期は、BSI値▲3.6（前期実績10.1）は減少に転じた。今後の4月～6月期は0.2とほぼ横ばいで推移し、続く7～9月期は▲1.9とわずかながら減少する見通し。
5. 製・商品在庫 2015年1月～3月期は、「適正」とする企業が78.4%、「過剰」とする企業が17.4%、「不足」とする企業が4.3%、BSI値6.6（前期実績8.9）と概ね適正水準で推移したが、前期に引き続き一部に過剰感が見られている。今後の4月～6月期は「適正」が80.8%、7～9月期は86.1%と、徐々に改善していく見込み。
6. 資金繰り 2015年1月～3月期は、「改善」とする企業7.6%、「不変」とする企業が75.2%、「悪化」とする企業が17.2%、BSI値▲4.8（前期実績▲0.6）と悪化に転じた。今後の4月～6月期は0.7とほぼ横ばいで推移し、7～9月期は▲2.7とやや悪化する見通し。

Ⅲ 当面の経営上の問題点

第1位は、「受注・売上げ不振」（49.8%）、第2位は「原材（燃）料高」（33.8%）、第3位は「過当競争」（26.7%）、第4位には「製・商品（請負）価格安」（21.1%）が続いた。第5位の「求人難」（19.0%）は前回調査時より1つ順位を上げ、かわって前回第4位だった「人件費負担増大」（17.7%）は第6位に後退した。

B. S. I. 値の総括表		実 績		予 想	
		2014年10～12月期	2015年1～3月期	2015年4～6月期	2015年7～9月期
国内景気動向		▲ 2.2	▲ 5.1	8.0	6.5
京都企業の経営動向	自社業況（総合判断）	6.7	▲ 9.5	2.2	▲ 1.7
	1. 生産・売上高、工事施工高	8.5	▲ 10.4	1.8	0.3
	2. 製・商品・サービス・請負価格	5.6	▲ 0.5	5.0	1.6
	3. 経常利益	3.8	▲ 10.4	▲ 1.3	▲ 4.4
	4. 所定外労働時間	10.1	▲ 3.6	0.2	▲ 1.9
	5. 製・商品在庫	8.9	6.6	6.0	5.3
	6. 資金繰り	▲ 0.6	▲ 4.8	0.7	▲ 2.7

※ B. S. I. 値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) × $\frac{1}{2}$

「明日へ! 未来へ!」
つながる交流!



京都商工会議所

記者配布資料②

春の会員感謝デー

時雨殿・しだれ桜 特別鑑賞会

～桜咲く嵐山 時雨殿でお待ちしております!～

本所では会員様同士の活発な交流の場を創る「会員交流プロジェクト」を展開しています

会員様限定

無料
ご招待

会員の皆様に日頃の感謝をこめて、嵐山の時雨殿に無料ご招待します。
この機会に小倉百人一首の世界に触れてみませんか。時雨殿を体感し、庭に咲く美しい「しだれ桜」や、保津川から対岸まで見渡すことのできる2階からの見事な眺望をご堪能ください。
当日は、音楽の演奏や時雨殿の体験プログラムなどもお楽しみいただけます。御呈茶とお菓子もご用意していますので、ぜひお出かけください。

※時雨殿は京都商工会議所の創立120周年事業の一環として設立された、日本で唯一の百人一首ミュージアムです。

4月11日(土) 10時～18時半(受付は18時まで)

日時 4月11日(土) 10時～18時半(受付は18時まで)
場所 小倉百人一首殿堂 時雨殿
(京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 TEL:075-882-1111)

対象 本所会員(従業員・ご家族様も含みます)
※事前お申込みは不要です。ご都合のいい時間にお越しください。
当日は会員証・お名刺・本所からのご案内など、会員様とわかるものをお持ちください。

特別拝観 ご来館の方は宝蔵院も当日に限り特別拝観頂けます。

入館料 無料

体験プログラム

- ・着付け体験(無料)
- ・百人一首かるた裏貼り体験(特別価格)
- ・貝合わせ絵付け体験(特別価格)
- ・お香(ふみ香)体験(特別価格)



月橋 渡です。
ボクも参加するよ!



※詳細は、HP (<http://www.kyo.or.jp>) でご案内しています。

■□■お問合せ■□■

本所会員部 会員サービス担当 TEL 075-212-6410 FAX 075-231-8247 Email kaiinbu@kyo.or.jp

全国商工会議所観光振興大会 2016in 京都開催について

■全国商工会議所観光振興大会 2016in 京都 概要

- 大会概要:地域における観光に対する意識改革と普及啓発を図り、まちづくりの一環として観光振興を推進することを目的に、平成16年度より全国商工会議所持ち回りで開催。今回の京都開催で13回目。
- 主催:京都商工会議所、日本商工会議所
- 共催:京都府商工会議所連合会
- テーマ:「2020年オリンピック・パラリンピック開催に向けた交流文化・観光の創造
～全国から知恵を活かした地方創生の取り組みを!～」
- 会期:2016年6月頃(第一候補6/30～7/2 第二候補6/6～6/8)
- 会場:ロームシアター京都を中心とする岡崎エリア
- 規模:1,500名(全体会議)、1,000名(交流会)、800名(分科会)

■全国商工会議所観光振興大会 2016in 京都開催実行委員会 概要

○設置目的

2016年に開催する「全国商工会議所観光振興大会 2016 in 京都」について、京都商工会議所全体で取り組みを進めるための実行委員会を設置し、企画・運営等について検討する。

○検討内容

- (1)プログラムの企画並びに広報、事前PRに関する事
- (2)当日の運営に関する事
- (3)予算・決算に関する事
- (4)その他

○設置期間

2015年4月～2016年10月(予定) ※開催頻度:5～6回程度

○組織

<名称>全国商工会議所観光振興大会 2016 in 京都開催実行委員会
(主管)観光産業特別委員会

<構成>顧問:会頭 立石 義雄

会長:担当副会頭 柏原 康夫

実行委員長:観光産業特別委員会委員長 田中 誠二

副実行委員長:委員から数名選任

委員:観光産業特別委員会(若干名)

希望する部会及び女性会、青年部より推薦のある役員・議員(各2名程度)等

オブザーバー:京都府(商工労働観光部、文化環境部)

京都市(産業観光局、文化市民局)

○第1回実行委員会

平成27年4月9日(木) 13:00～14:30 於:役員室

議題 役員を選任/事業計画/予算など

(裏面:これまでの開催状況)

<ご参考>

～日商観光振興大会について～

・開催趣旨・目的

商工会議所として、地域における観光に対する意識改革を図り、地域のホスピタリティ能力の向上や魅力ある地域情報の発信に努めるとともに、地域資源を積極的に活用し、「まちづくりの一環としての観光振興」を推進していくことを目的とする。

※平成 16 年度より開催しており、今年度の別府大会で 11 回目。平成 20 年度からは「きらり輝き観光振興大賞」の表彰式(初回は京都が大賞を受賞)を併催。

(参考)過去の開催地

回数	期日	開催地	テーマ	人数
1 回	H16 年 10 月	栃木県宇都宮市	観光振興を街づくり運動として進める	750 名
2 回	H17 年 10 月	岡山県倉敷市	観光振興で地域力を発揮しよう	1300 名
3 回	H18 年 10 月	北海道函館市	地域の地域による地域のための観光地づくり 体験・滞在型観光の振興と移住の促進	1200 名
4 回	H19 年 9 月	静岡県浜松市	地域の特性を全国に発信しよう～地域ブランドの創出と産業観光との連携への指針～	1200 名
5 回	H20 年 11 月	鹿児島市等	地域連携で実践する観光の新たな魅力づくり	1200 名
6 回	H21 年 11 月	神戸市	デザイン都市づくりと生活文化体感型観光の推進	1700 名
7 回	H23 年 2 月	青森市等	「旅と健康」～ヘルシーな青森流のおもてなし～	1200 名
8 回	H23 年 11 月	福岡県北九州市等	新しい時代の観光 連携観光の明日を考える	1720 名
9 回	H24 年 10 月	高知市等	スローライフ観光のすすめ	840 名
10 回	H25 年 7 月	岩手県盛岡市等	復興を推進する交流観光～復興の現状と観光が果たす役割～	1116 名
11 回	H26 年 10 月	大分県別府市等	地域を磨く人の育て方～オンリーワンの地域づくりが豊かな観光地を育む～	1500 名
12 回 (予定)	H27 年 11 月	静岡市等	歴史・文化資源の「再発見」と「学び」による観光振興～家康公と世界文化遺産「富士山」に学ぶ～	1200 名